

園生活の中で、子どもたちは季節の変化を感じさせてくれる自然物とも関わっています。「ドングリを拾って来たよ。」とビニールに入った大小様々な形のドングリを見せてくれる子どももいました。枝についたままの緑のドングリと枝からおちた茶色のドングリを観察したり、また、赤や黄色に色づいた葉を見て、葉の色の変化に疑問を持っている子どももいました。

子どもたちの思いや感じた疑問を大切にしながら、子どもたちと一緒に考えたり、調べる方法を伝えることで、調べたり考えたりする楽しさを実感してもらいたいと思います。

## ◆ Let's exercise! ◆

10月のテーマは、「体の部位」でした。

年中組では、体の部位と言葉を結び付けて確認することができる手遊び“Head Shoulder Knees and Toes”と体の部位の名称と右と左の位置関係・in と out のイメージを実感できる踊り“The Hokey-Pokey”をしました。

“Head Shoulder Knees and Toes”は、「あたまかたひざポン」という日本の手遊びでも親しまれている手遊び歌です。イギリス民謡「London Bridge (ロンドン橋落ちた)」がメロディーです。子どもたちにとって馴染みのあるメロディーと動きなので短い時間で慣れることができます。

最初子どもたちは、教師の動きを見ながらゆっくりと発音しながら体の部位を触っていきます。

体の部位とその表現が結びついて来たところで、教師は言葉だけを発音します。どのくらいイメージが言葉と結びついているのかを確認する意味もあります。

年長組では、ストレッチを英語でしてみました。体の筋肉を意識しながら、「屈伸運動」「伸脚運動」「手首足首を回す運動」「跳躍の運動」「深呼吸」を行いました。自分の手で自分の体についている筋肉を触って、“muscle”という表現とその意味を確認しました。

掛け声も英語で挑戦してみました。いつもは「いち、に、さん、し、ご、ろく、しち、はち、に、に、さん、し、ご、ろく、しち、はち」と掛け声を数えていたことを思い出し、それを英語で言ってみました。

数字の英語表現がすぐに口をついて出る姿を見て、英語での表現も身近なものになっている事を感じました。また、深呼吸“Breath in, Breath out...(息を吸って、息を吐いて)”の表現には親しんできた言葉 in・out も入っていましたので、イメージしやすかったようです。

## ◆ Good morning! ◆

園では、朝の自由選択活動の時間に園全体の子どもたちに向けて職員室から英語の放送を行っています。

放送は、本日の日付、曜日、そして天気、月の英語表現を、ポイントを意識して発音してみたあとに英語の歌を流すという順番で行っています。



何回も放送に挑戦している子どもは、新しく放送に来た友達に、「入るときは“May I come in?”と言うんだよ」と教えてくれます。

友だちが放送に参加しているのを「今日は見とく」と近くで見ている子どももいます。それぞれの思いに合わせ、「放送したい時はいつでも加わっていいからね、待っていますよ」と声をかけ、いつでも、誰でも参加できるような雰囲気、朝の英語の放送を行うように心がけています。

日常的な英語に親しむと言う事と、子どもたちの意欲を大切にしたいと考えています。自分から「やりたい」と思うときに思いきってやってみる事で、「できた」「楽しかった」と自信がつき、更に新しいことにも挑戦していけると思います。

## How do you say OO in English? ~OOは英語でどう言うの? 秋の自然編~

### ①どんぐり

漢字(かんじ)では... 団栗



### ②いもほり

漢字(かんじ)では... 芋掘り →くわしくはうらをみてください



♪ えいごのうた ♪ ~R/T/D/Th/V/Fの発音を意識してみましょう。

Days of the weeks

There are seven,  
There are seven,  
There are seven days in the week

Sunday, Monday,  
Tuesday, Wednesday  
Thursday, Friday  
Saturday

なのか あるよ  
なのか あるよ  
いっしゅうかんは  
なのか あるよ。  
にちようび、げつようび、  
かようび、すいようび  
もくようび、きんようび  
どうようび



<曜日の語源>

Sunday(日曜日) : Sun(太陽の)+day(日)  
Monday(月曜日) : Moon(月の)+day(日)  
火曜日からは、北欧神話や古代ローマに出てくる神々の名前が由来になっています。  
Tuesday(火曜日)  
Teus(北欧神話の軍神ティウの)+day(日)  
Wednesday(水曜日)  
Woden's(北欧神話の神ウォーデンの)+day(日)  
Thursday(木曜日)  
Thor(北欧神話の雷神トールの)+day(日)  
Friday(金曜日)  
Frigg's(北欧神話の女神フリッグの)+day(日)  
Saturday(土曜日)  
Saturn's(古代ローマの農耕の神サトゥルヌスの)+day(日)

このように、普段何気なく使っている言葉にも由来があります。日本語、英語の他の言語ではどのように表現しているのでしょうか。ぜひ調べてみてください。

※北欧神話：古く北欧の大半を占めたゲルマン民族に共通する神話及び英雄伝説 (スーパー大辞林より)

This month's English conversation ~今月の英会話~⑤

Thank you for your help.

「手伝ってくれてありがとう。」

感謝の気持ちを伝える表現は場面によって様々な物があります。“Thanks.”というシンプルな表現から、更に強い感謝の思いを伝えたい時は“Thank you very much for your help.”など意味を強める副詞：veryとmuchを付け加えることで、思いを強調して表すことができます。

veryは形容詞と副詞を修飾、muchは主に動詞を修飾する働きをしています。

子どもたちと挨拶をする時も、どんな風に伝えると相手に気持ちが伝わるのかを常に確認しながら挨拶をするように心がけています。

How do you say “donguri” in English?

①acorn [éikɔ:rn]

ドングリは樫(カシ)・桐(クヌギ)・榎(ナラ)などのブナ科の植物(oakと総称される)の果実の総称です。表面の堅い部分が果実で、「堅果」と呼ばれています。俗に「ドングリの帽子」などと呼ばれる部分は「殻斗(かくと) (cupule)」という名称がついています。実の形は、樹木の種類によって異なり、球形(sphere)・楕円形(ellipse)・卵型(oval)など様々です。内部の種子のほとんどを占める子葉はでんぷん質で食べることもできませんが、ほとんどのドングリはあくを抜かないと渋くて食べることができません。

How do you say “imohori” in English?

②(sweet)potato digging

「芋掘り」と言う名詞は、「芋」+「掘ること」という名詞を組み合わせる「芋を掘る行為」を一言で表しています。英語でも「掘ること」と言う動作を表す名詞diggingと、potatoを組み合わせています。

せかいの「じゅうがつ」 せかいのいろいろなことばで「じゅうがつ」はどうあらわされているのかな？  
よみかたは [ ] のなかにかいてありますのでおうちのひとといっしょに よんでみてくださいね。

にほんご  
じゅうがつ  
[jugatsu]  
10月  
十月  
おかしなよびかたのひとつ。  
ほかにも、べつのおかしなよびかたが  
たくさんあるので  
しらべてみてくださいね。  
神無月  
[かみなづき  
かなづき]

いたりあご  
ottobre  
[ottóbɾe]

ふらんすご  
octobre  
[ɔktɔbɾ]

えいご  
October  
[aktóubə]

どいつご  
Oktober  
[októbe]

かんこくご  
시월  
[siwɔl]

ちゅうごくご  
十月  
[shi yue]

つかわれているもじのしゅるいはどんなものがあるでしょう。  
せかいには、ここにかいてあることばのほかにも、「ろしあご」や  
「ぼるとがるご」などたくさんのことばがあります。  
しらべてみると おもしろいはっけんがあるかもしれませんね。

《しらべたよ!》  
10月の誕生会で、言葉の成り立ちを考える一つのきっかけとして“octo-” (ラテン語で8に関係あることを表す)の付く言葉をいくつか紹介して、なぜ10月を表すOctoberに8に関係する“octo-”がついているのかという質問を投げかけていました。  
もう11月になるので、その理由をそろそろ英語コーナーに掲示しようと思っていたある日、一人の年長組の男の子が嬉しそうに、「何でOctoberかわかったよ。昔は今の3月から1月を数えていたから10月が8番目だったんだよ」と教えてくれました。お母様も一緒に調べてくださったそうです。  
英語の時間にクラスでも紹介してもらいました。それを聞いた友達も、「ああ、そうだったんだ!」と納得していました。疑問を持ったことを家庭でも話題にして調べ、友だちにも伝える姿を見て嬉しく感じました。

この文書に関するご意見・ご感想、また、ご家庭の英語に関する取り組みの紹介等、引き続きお待ちしております。(編集：上原)